



曹洞宗 源溪山長安寺 寺報〔N0.297〕

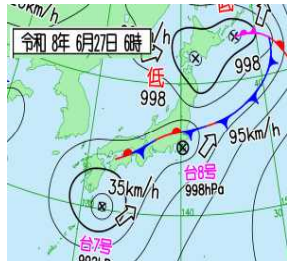
“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和8年6月④
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



◆掃除は“動く坐禅”

梅雨前線+台風7号+台風8号というまれな気象条件のため、予定変更も考えねばと思っていましたが、予定通り本年も婦人会の皆様により山内をきれいにして頂きました。



2日目(28日)は、本堂や庫裏の掃除をして頂きました。



一日目(27日)は、おもに外をして頂きました。親子で参加いただいた方もありました。

あちこちの草取りはもちろんですが、敷石や植え込みの間の草や枯れ葉なども一つずつ手で取っていただき、とてもきれいになりました。

禅寺では、掃除は大切な修行の一つとされています。大本山永平寺を開かれた道元禅師は「毎日の作業そのものが心を磨く道である」と示されました。

大本山総持寺を開かれた瑩山禅師は、掃除の御利益として以下のことをお示しです。

- 自らの心が清まること
- 他人の心を清めること
- おごった心を取り除くこと
- 心を安らかに整えること

これを通して、自分の身の回りも清らかに保ち、内面も整えていくことができる

掃除は「動く坐禅」とも呼ばれます。大切にせねばと思います。